



E-TYPE



パック④組立ガイド

ステージ②④スペアホイール1

ステージ②⑤スペアホイール2

ステージ②⑥サブフレームパーツ8

ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション

ステージ②⑧右フロントブレーキ・右フロントサスペンション

ステージ②⑨サンプ・トーションバー

ステージ③⑩エンジン冷却システム

ステージ③⑪サブフレームパーツ9

● 組み立て前の注意点 ●

① 予備ネジが付属しています。予備は必要本数+1個です（例：2本必要な場合には「×3」とパーツリストに示されます）。

② 異なるネジが交ざらないように注意してください。見た目はよく似ていますが、ネジ山が微妙に異なります。誤ったネジを使用すると、ネジ山や部品が破損することがあります。

③ 複数のネジで部品を固定する際、最初に各ネジを緩く締め付け、部品が正しく取り付けられているかを確認してから、各ネ

ジを増し締めしてください（締めすぎないように注意）。

④ ドライバーの金属部分を磁石でこすると磁化され、先端でネジを保持しやすくなり、組み立てが楽になります。

⑤ 金属部品を留めるネジがきつい場合、無理に入れると頭やネジ山が破損します。爪楊枝の先などに機械オイルなどをほんの少し付けてネジ山に塗れば、スムーズに締められます。

⑥ 右側・左側は座席に座った位置から見た左右となります。

● 厳重注意 ● 一部の部品には磁石が使われています。磁石を誤飲すると、健康上の問題を生じる場合があります。こうした部品は子供の手の届かないところに置き、磁石を飲み込んだと思われる場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

ステージ②④スペアホイール1

スペアホイールを組み立てます。スポークは治具を使って1本1本取り付けていきます。デリケートで複雑な作業なので、各ステップの解説をしっかりと頭に入れて、慎重に進めていきましょう。難易度の高い作業です。必ず下記の動画も参考にして組み立ててください。

<https://youtu.be/NdYp1kBoJSs>



STAGE②④パーツリスト

名称
スポークリテーナリング
ホイールセンター
ホイールリム (外周)
ピンセット
ジグ (治具)
ネジAG02×5
インナースポーク×48



スポークリテーナリング



ホイールセンター



ホイールリム (外周)



ピンセット



ジグ



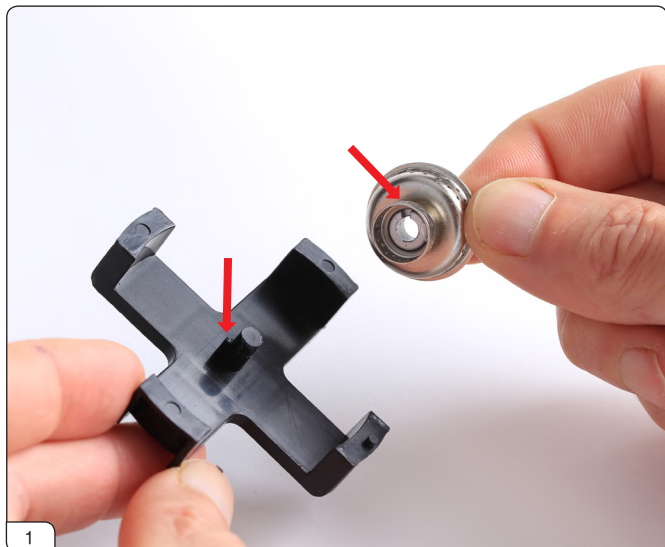
ネジAG02×5



インナースポーク×48

ステージ②④スペアホイール1

STEP 1

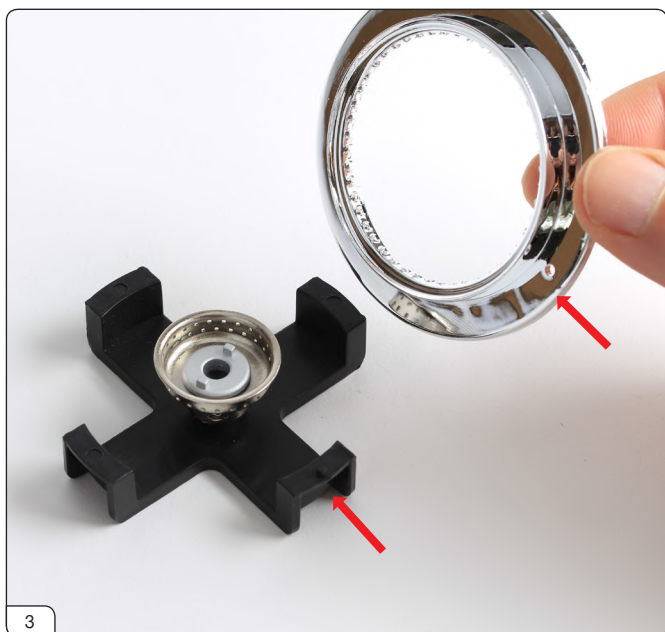


ジグ(治具)をセットする

ジグにホイールセンターをセットします。ホイールセンターの切り欠きとジグのタブを合わせて(赤矢印)、ジグのセンターに配置します。ジグは組み立てを容易にするガイドのようなもので、作業が完了したら取り外します。



ジグにホイールセンターがセットされた状態です。

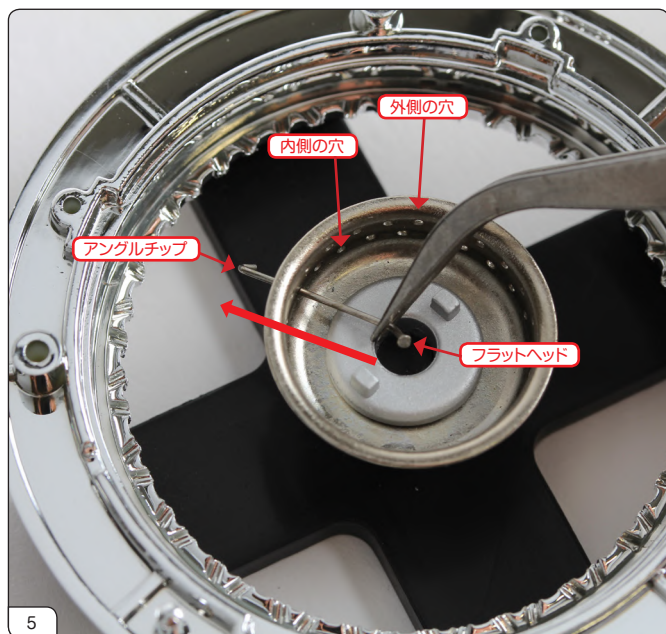


ホイールリムの外周の穴とジグの突起を合わせて(赤矢印)、ホイールリムをジグにはめ込みます。



ホイールリムがジグにはめ込まれた状態です。

ステージ④ スペアホイール1



スポークの取り付け 内側の穴

まず、ホイールリムの内縁に、幅が交互に異なる「歯」があることに注意してください(写真6参照)。取り付けるスポークの両端はほぼ直角に曲がり、一方の端はヘッド部分が釘の頭のように平らになっています(アングルチップとフラットヘッド)。一連の作業は、ピンセットでアングルチップをホイールセンターの穴に通し(赤矢印)、ホイールリムの内縁にある「歯」に引っ掛ける繰り返しとなります。



写真のようにホイールリムの「歯」は、幅が「広い歯」と「狭い歯」が交互に並んでいます。最初の1本はスポークをアングルチップから内側の穴に通し、アングルチップが一番フィットする最も近い「広い歯」に先端を引っ掛けます。作業は付属のピンセットを使用してください。

注意:正しく取り付けるにはコツがあります。ホイールセンターを軽く押したりひねったりして動かし、各スポークのテンションを調整しながら取り付けていきましょう。



次に2本目のスポークを、1本目の隣の内側の穴に通し、アングルチップを次の「広い歯」に引っ掛けます。内側の穴に通すスポークは、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



同様に3本目のスポークを取り付け、以後、ホイールセンターの内側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けることです。注意して作業を進めてください。

ステージ②④スパアホイール1



内側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



横から見た状態です。すべてのスポークが、内側の穴に取り付けられています。



スポークの取り付け 外側の穴

続けて、外側の穴にスポークを取り付けていきます。



アングルチップを穴に通して「広い歯」に引っ掛けることは同じですが、アングルチップは、内側の穴と逆方向を向きます。黄矢印が内側の穴のスポークで、赤矢印が外側の穴のスポークとなります。

ステージ②④スペアホイール1



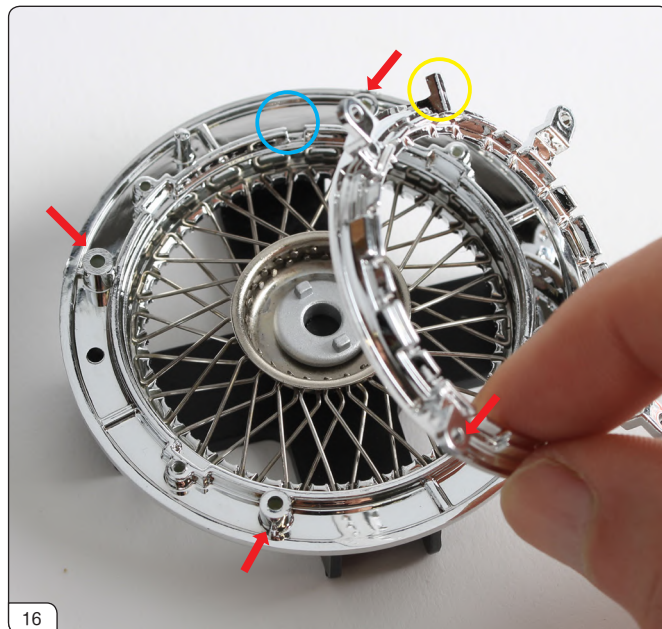
次に2本目のスポークを、1本目の隣の外側の穴に通し、アングルチップを逆向きにして（赤矢印）、次の「広い歯」に引っ掛けます。外側の穴に通すスポークも、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



以後、ホイールセンターの外側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けること、アングルチップを逆向きに引っ掛けることです。



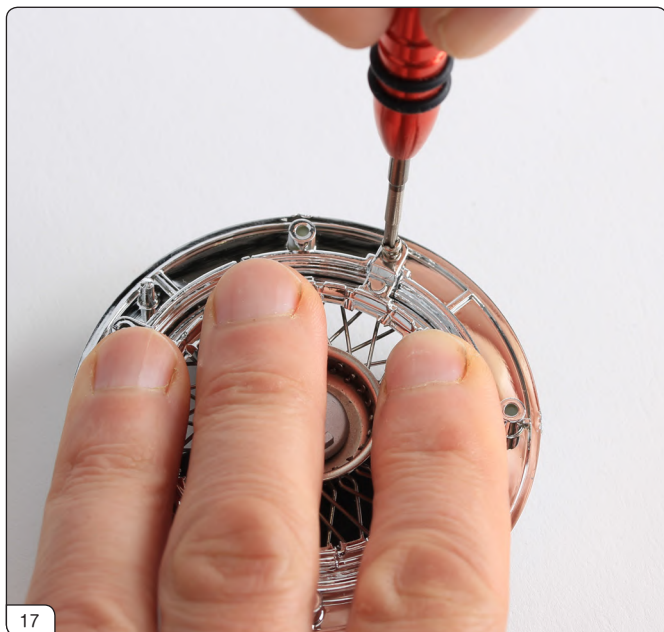
外側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



スポークを止める

次はスポークリテーナリングでスポークを止める工程です。スポークリテーナリングを、ホイールリムの上に注意深く置きます。スポークリテーナリングの突起（黄丸印）とホイールリムの切り欠き（青丸印）を合わせると、赤矢印のネジ穴が合うはずです。

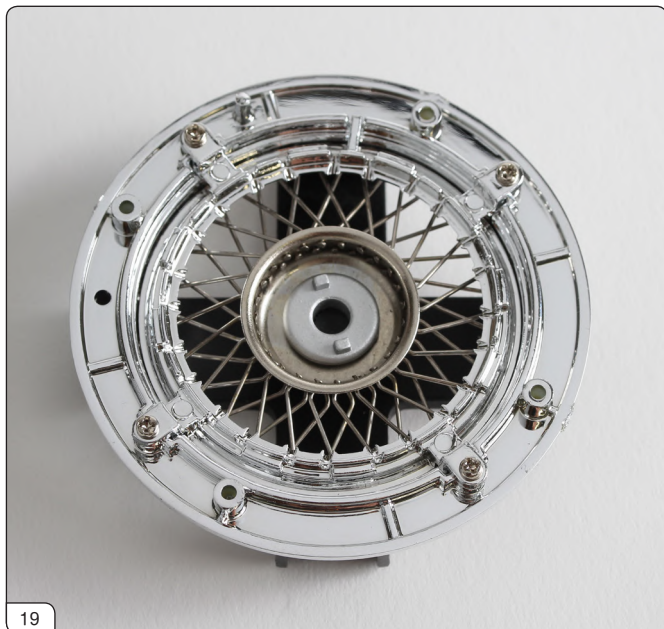
ステージ②④スペアホイール1



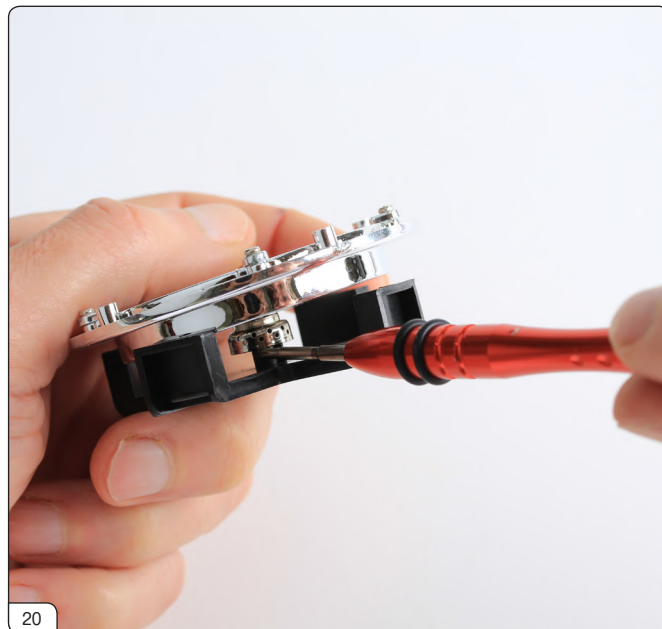
AG02のネジ4本で固定しますが、最初は緩めにネジを締めます。



AG02のネジ全部を緩めに締めたあと、スポークにがたつきがないか確かめながら、各ネジを増し締めしていきます。



スポークがしっかりと固定された状態です。



ホイールをジグから外します。ホイールを無理に引っ張らず、ドライバーなどを梃子にして外しましょう。ジグは残りの車輪を組み立てるときに使います。保管しておいてください。

ステージ②④スペアホイール1

ステージ②④の完了



ステージ②⑤スペアホイール2

ステージ②④に続いて、スペアホイールを組み立てていきます。



ステージ②⑤パーツリスト

名称
スペーサーリング
インナーホイールリム
スポークタイプB×12
スポークタイプA×12
ネジAG03×5



スペーサーリング



インナーホイールリム



ネジAG03×5



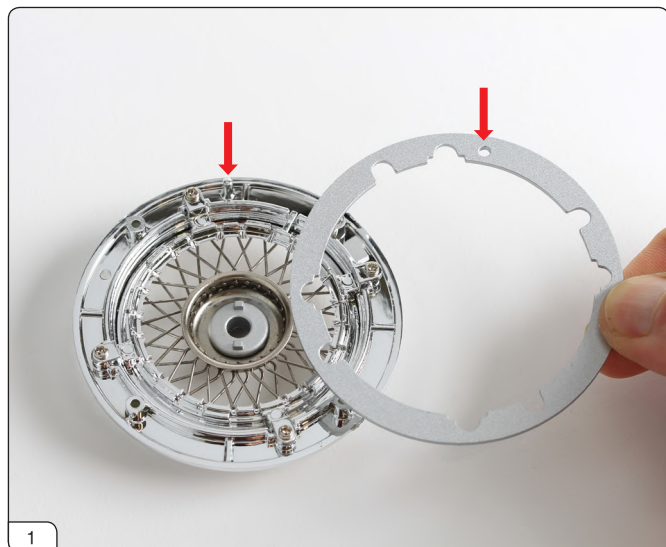
スポークタイプB×12



スポークタイプA×12

ステージ②⑤スペアホイール2

STEP 1



スペーサーの取り付け

ステージ②④で組み立てたホイールリムにスペーサーリングを取り付けます。スペーサーリングの穴とホイールの突起を合わせます。

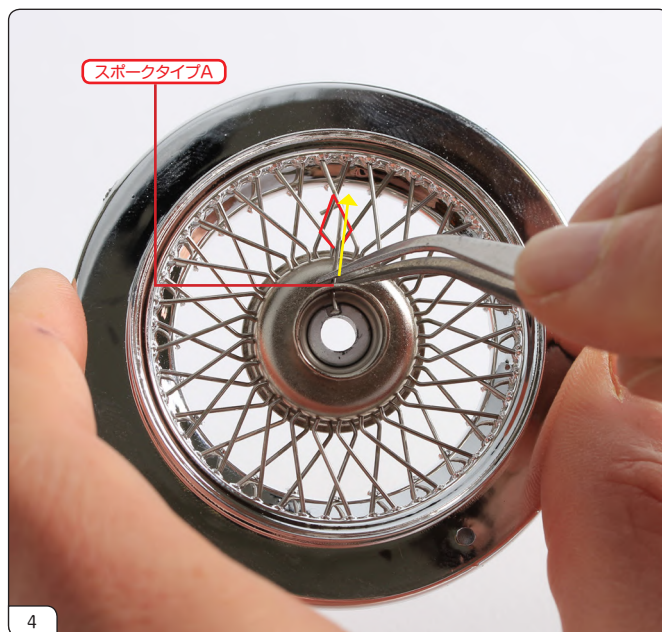


スペーサーリングを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



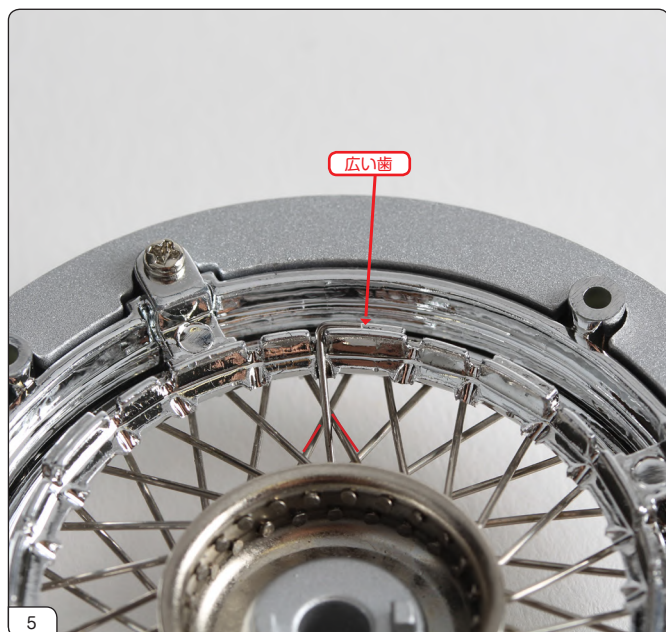
スポークの取り付け 内側の穴

ホイールリムを裏返して、スポークを装着する小さいホイールセンターを上に戻します。ステージ②④と同じようにスポークを通す穴は、内側の穴と外側の穴があります。最初に内側の穴からスポークを取り付けていきます。

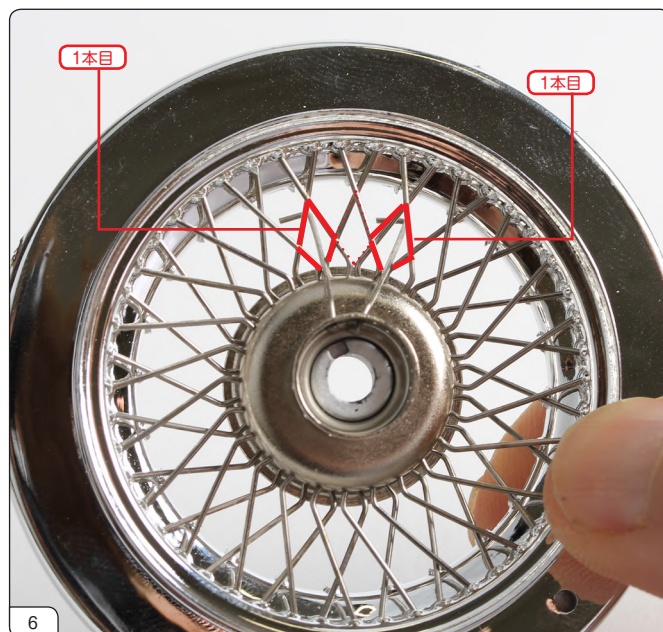


ピンセットを使って、スポークタイプAを内側の穴に通します。アングルチップを赤い菱形の開口部からやや時計回り（黄矢印）に向け、反対側に出します。

ステージ②5 スペアホイール2



ホイールリムを裏返し、先端のアングルチップが「広い歯」に引っかかるかどうかを確認します。「広い歯」に引っかからない場合には、スポークタイプAを引き出して、再度隣の穴に入れてみてください。今度は引っかかるはずです。



最初のスポークタイプAが正しく装着されるのを確認したら、アングルチップはフリーのままにしておきます。続いて2本目のスポークタイプAを隣の内側の穴に通します。

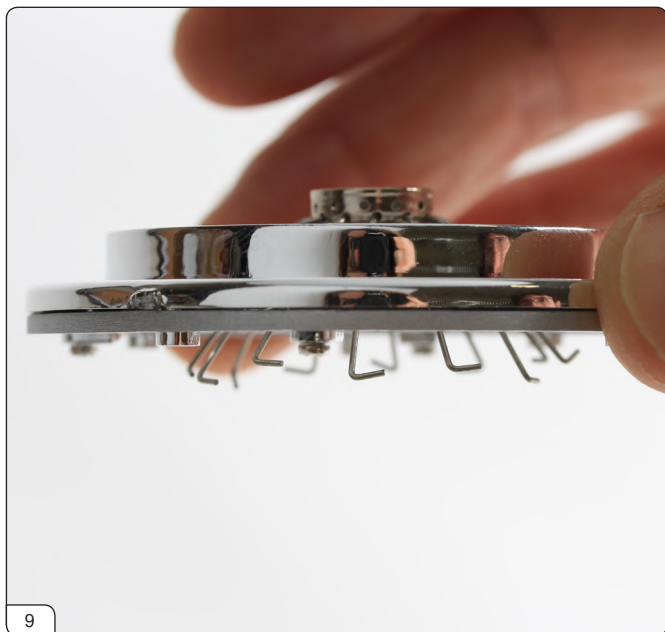


この作業を繰り返して、12本のスポークタイプAを入れていきます。スポークタイプAが入る場所は、赤い菱形部分です。青丸印は工程11に関連した目印です。



スポークタイプAの12本が、内側の穴に装着されました。

ステージ②5 スペアホイール2

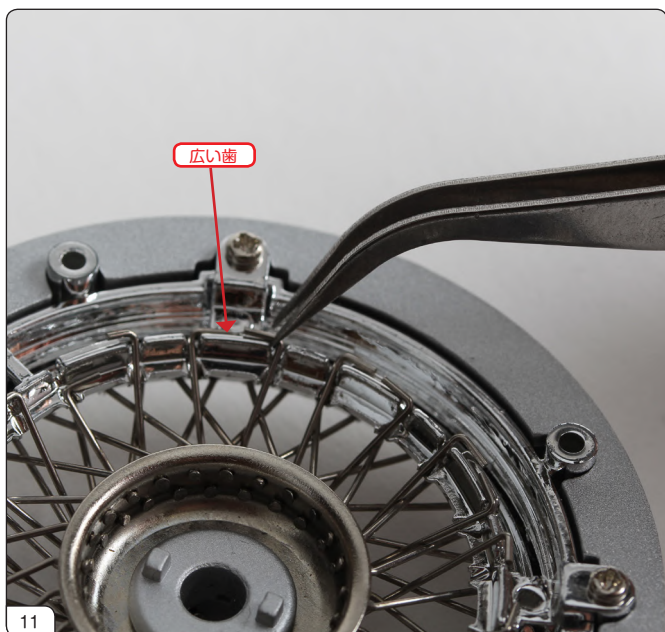


横から見た状態です。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。



スポークの取り付け 外側の穴

次にスポークタイプBを外側の穴に入れていきます。



スポークタイプBの装着は、空いた菱形の開口部（スポークタイプAを入れていない菱形の開口部。工程7の青丸印）に入れます。まずは反対側の広い歯に引っかかるかどうかを確認します。



スポークタイプBを反対側に通すと、スポークタイプAと交差（赤と黄色破線）するはずですが、「広い歯」に引っ掛かることを確認しながら、スポークタイプBの12本を入れていきます。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。

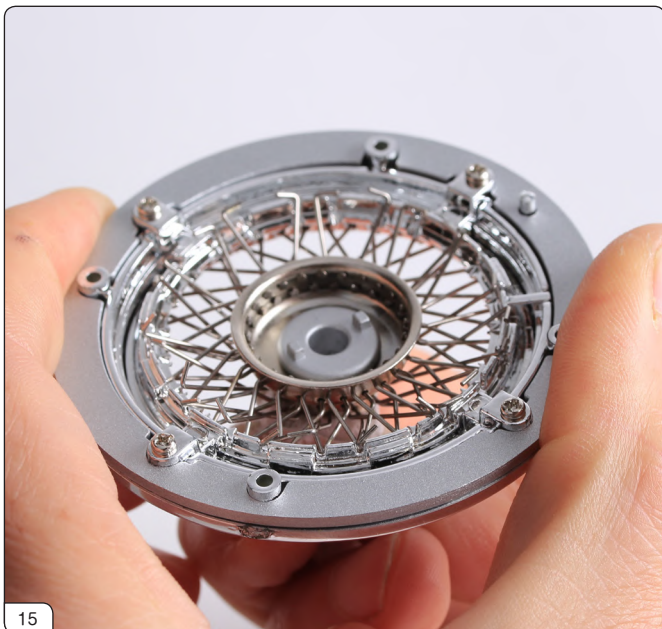
ステージ②5 スペアホイール2



スポークタイプBの12本が、ホイールリムに取り付けられました。



コットンないしキッチンペーパーを用いて、スポークのフラットヘッド部分を押し込むようにして、フラットヘッドを所定の位置に固定します。

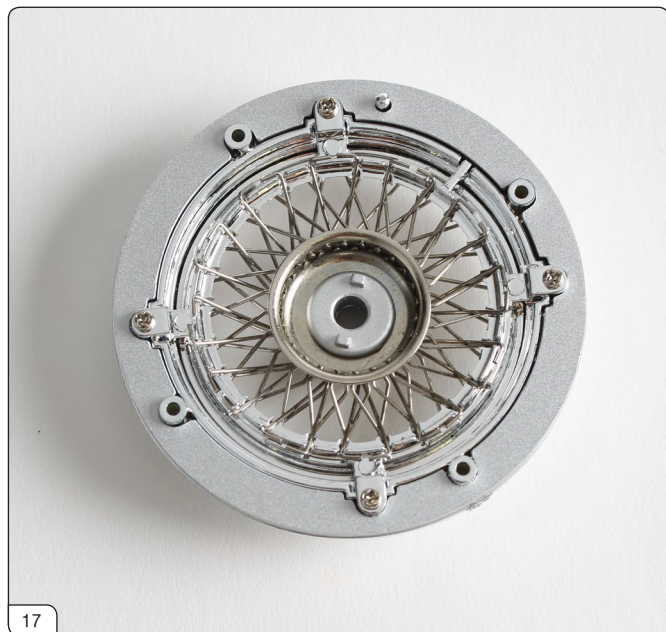


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらホイールリムをひっくり返します。

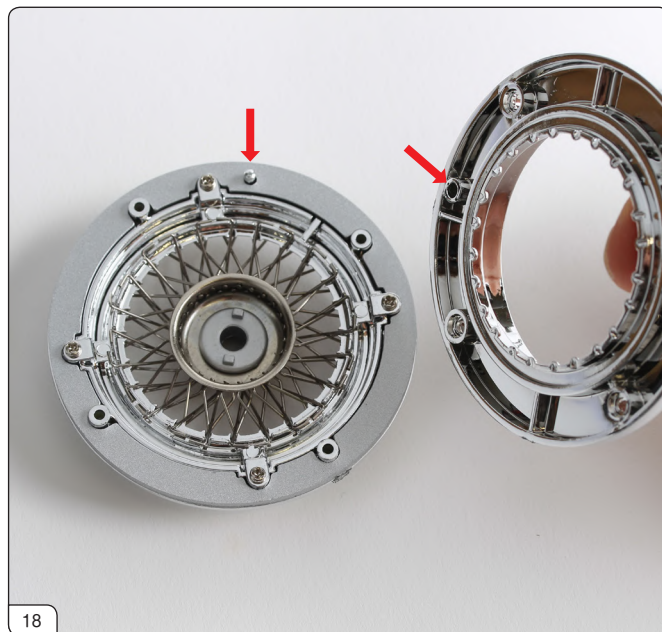


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらスポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップを「広い歯」にセットしていきます。親指でなでるように押さえたり、ピンセットも使ってみてください。

ステージ②5 スペアホイール2



スポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップが、正しくセットされた状態です。



インナーホイールリムの取り付け

このステージで開梱したインナーホイールリムの穴とスペーサーリングの突起 (赤矢印) を合わせます。



これでネジ穴が合うはずです。インナーホイールリムをしっかりと押し込みます。ここでスポークリテーナリングとインナーホイールリムが、ぴったりと合わさっていることを確認してください。ギャップがある場合には、工程17に戻ってスポークを調整します。



インナーホイールリムをAG03のネジ4本で固定します。

ステージ②⑤スペアホイール2



タイヤへの組み付け

ステージ②⑥で開梱したタイヤを完成したホイールにはめます。小さなボウルに熱湯を入れて、タイヤを約2分間浸します。



ピンセットを使ってタイヤをボウルから取り出し、キッチンペーパーやタオルで余分な水分を除きます。火傷しないように注意してください。



タイヤが柔らかいうちに、ホイールをタイヤに押し込みます。ホイールを縦にねじこみ、回し込むようにはめていきます。下記の動画も参考にしてください。



ホイールがタイヤの内壁に完全にフィットするまで、ねじこむ作業を続けます。

<https://youtu.be/NdYp1kBoJSs>

ステージ②5 スペアホイール2



タイヤがホイールにしっかりと装着された状態です。

ステージ②5の完了



ステージ②サブフレームパーツ 8

ステージ②に続いてサブフレームパーツを組み立てていきます。



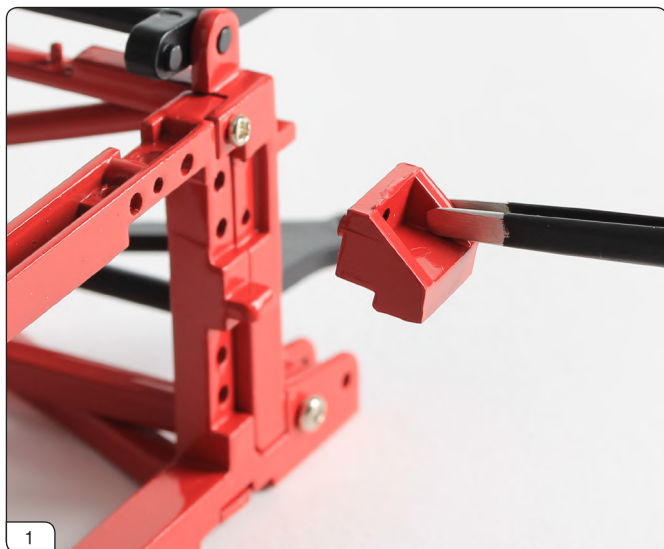
ステージ②パーツリスト

名称
左ロアブレース
ステアリングラック取付ブラケット
右ロアブレース
オイルフィルター
ネジAM04×3



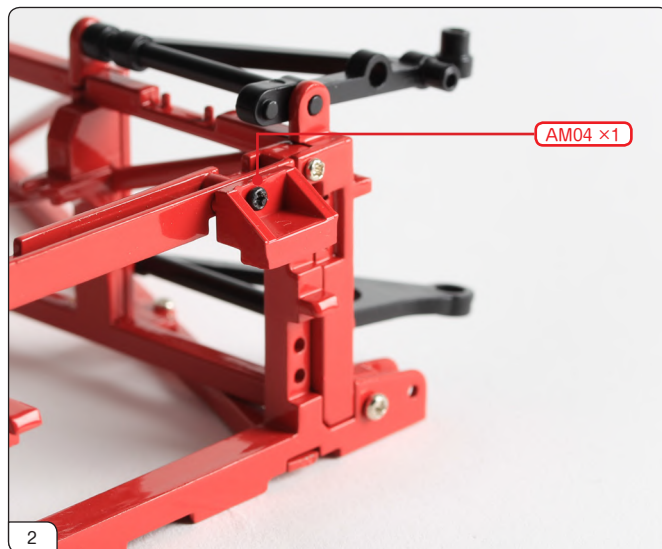
ステージ②サブフレームパーツ 8

STEP1

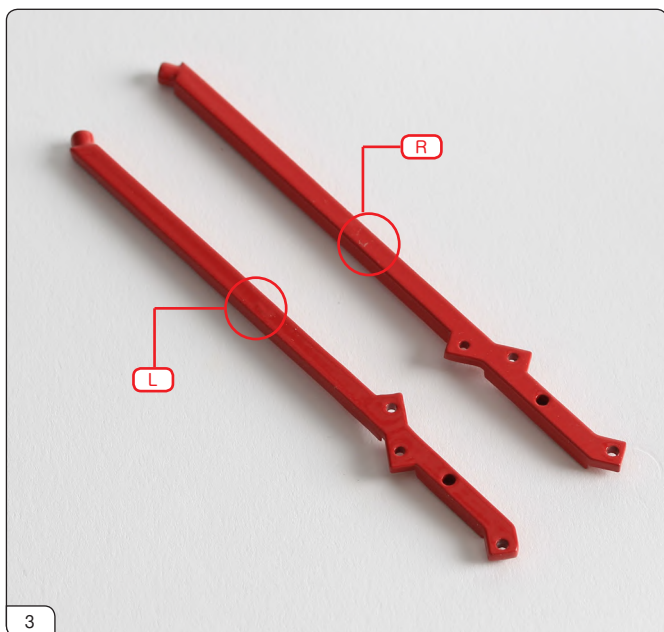


ステアリングラック取付ブラケットの取り付け

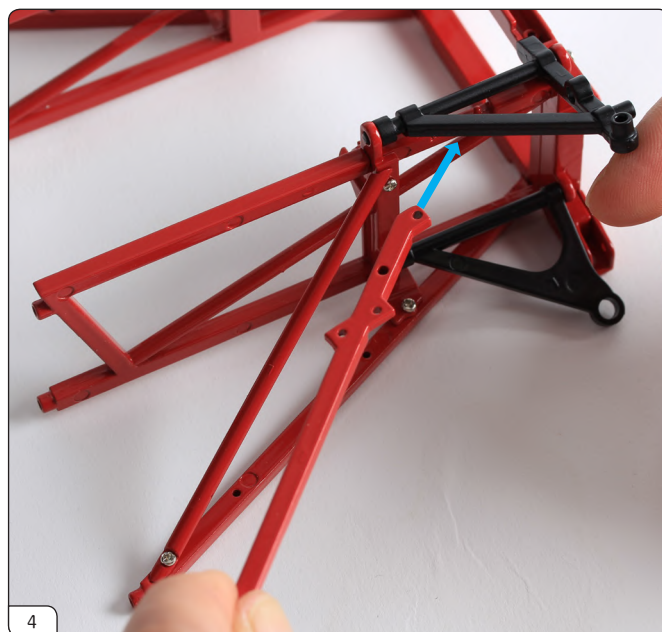
ステアリングラック取付ブラケットを、ステージ②で組み立てたサブフレームのフロントクロスメンバーに合わせます。



AM04のネジで、ステアリングラック取付ブラケットを固定します。



左右のロアブレースに、左 (L) と右 (R) と表示されていることを確認してください。



左ロアブレースの取り付け

サブフレームを逆にして作業台に置き、左ロアブレースをロアウィッシュボーンとサブフレームの下に通します。

ステージ②⑥サブフレームパーツ 8



左ロアブレースの端をフロントクロスメンバーの凹部にはめ込みます (赤矢印1)。左ロアブレースの穴が、サブフレームの突起に入っていることを確認してください (赤矢印2)。



AM04のネジで左ロアブレースを固定します。

ステージ②⑥の完了



ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション

左フロントブレーキ、左フロントサスペンションを組み立てます。



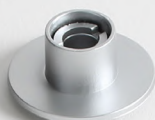
STAGE②⑦パーツリスト

名称

左サスペンションアップライト
ブレーキディスク
ショックアブソーバーシュラウド
ダンパー本体
コイルスプリング
サスペンションブッシュ
ピボットピン
キャリパー
ネジAM05×3
ネジAM04×2
ネジAM06×2



左サスペンションアップライト



ブレーキディスク



ショックアブソーバーシュラウド



ダンパー本体



コイルスプリング



サスペンションブッシュ



ピボットピン



キャリパー



ネジAM05×3



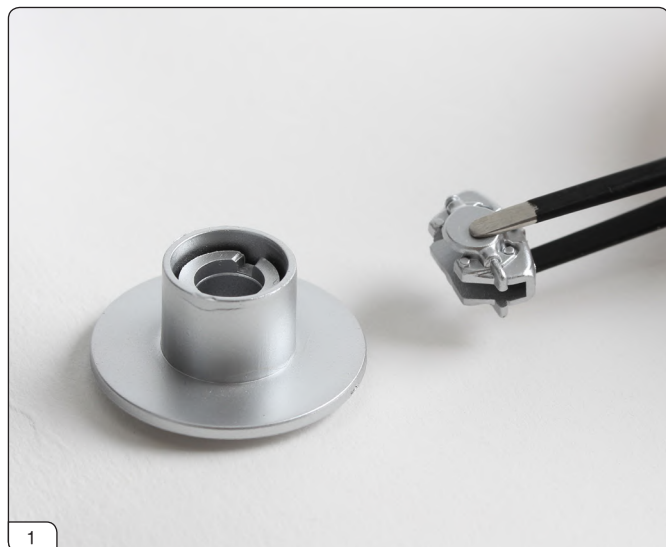
ネジAM04×2



ネジAM06×2

ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション

STEP 1



左フロントブレーキ ディスクの組み立て

写真のように、ブレーキディスクとキャリパーの位置を合わせます。

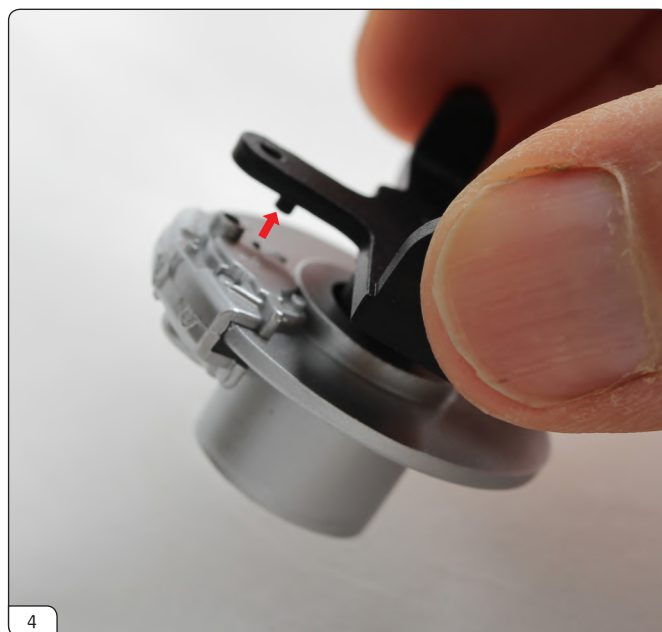


キャリパーをブレーキディスクにはめ込みます。



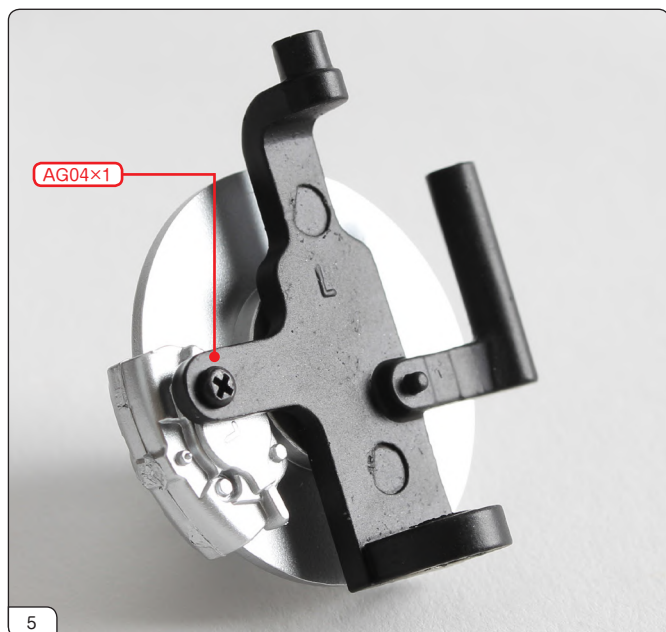
ブレーキディスクを左サスペンションアップライトの中央部にはめ込みます。左サスペンションアップライトの突起に注目してください(赤丸印)。

注意: 開梱したサスペンションアップライトに「R」のマークがある場合、ステージ②⑧をチェックしてください。「L」のマークがある左サスペンションアップライトがあるはずです。



キャリパー裏の穴に、左サスペンションアップライトの突起がはまります。

ステージ②⑦ 左フロントブレーキ・左フロントサスペンション

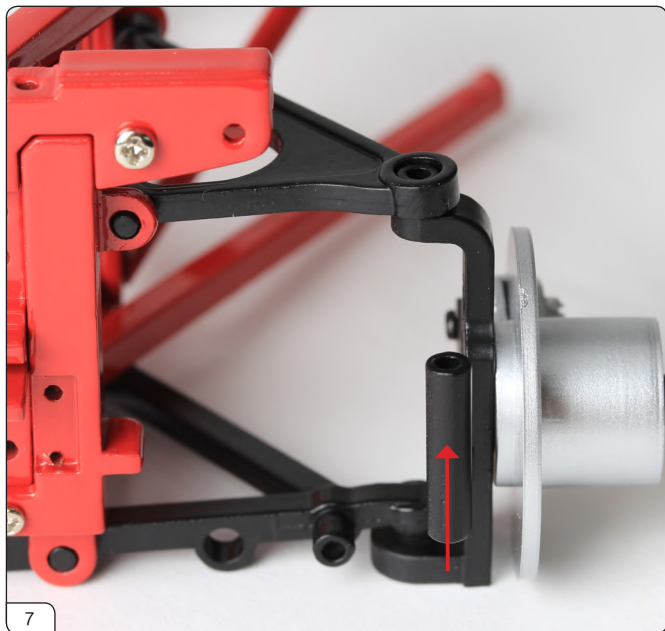


AG04のネジでキャリパーを左サスペンションアップライトに固定します。



サスペンションにブレーキパーツを取り付ける

ステージ②⑥で左ロアブレースを組み付けたサブフレームを取り出します。写真のようにアッパーウィッシュボーンとロワウィッシュボーンにブレーキパーツを合わせます。



ロワウィッシュボーンの下向きの突起に、左サスペンションアップライトの穴をはめます (赤矢印)。

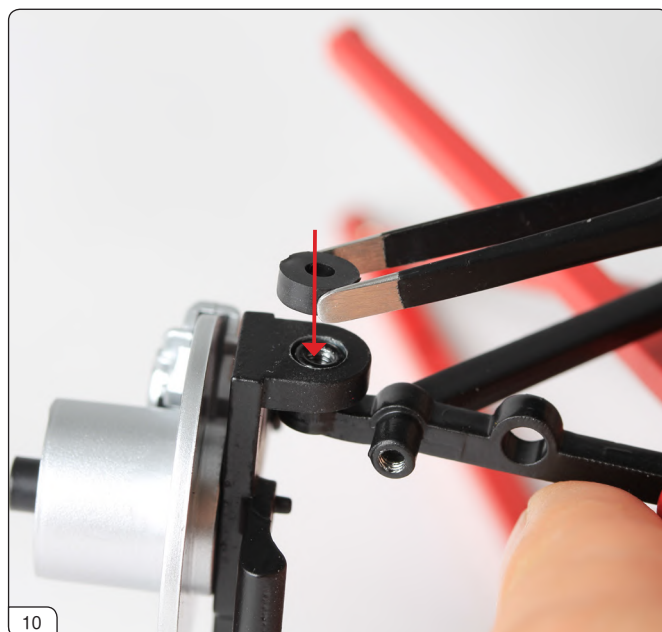


アッパーウィッシュボーンの穴に、サスペンションブッシュをはめ込みます (赤矢印)。

ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション



サスペンションブッシュとアッパーウィッシュボーンを通して、左サスペンションアップライトをAM05のネジで固定します。左サスペンションアップライトの動きを妨げないように、ネジは締めすぎないでください。



サブフレームを裏側にして、ロアウィッシュボーンの穴にもう1つのサスペンションブッシュをはめ込みます（赤矢印）。



サスペンションブッシュとロアウィッシュボーンを通して、左サスペンションアップライトをAM05のネジで固定します。左サスペンションアップライトの動きを妨げないように、ネジは締めすぎないでください。



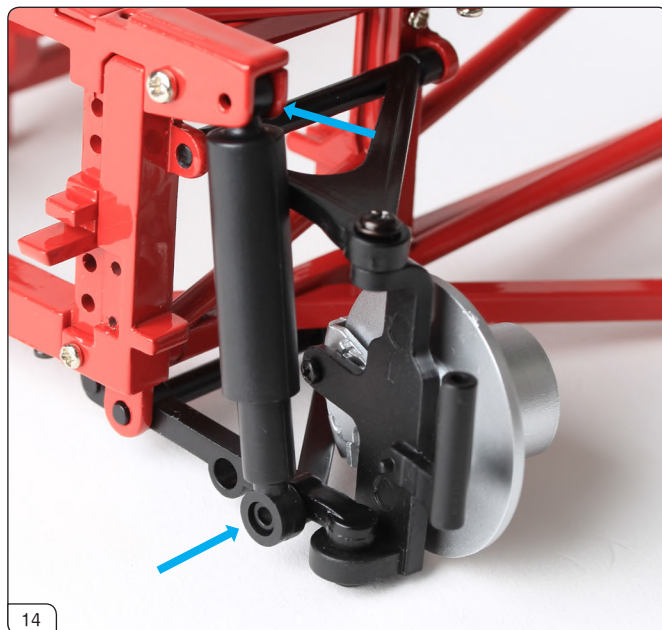
ショックアブソーバーの組み立て

ショックアブソーバーシュラウド、コイルスプリング、ダンパー本体を写真のように配置します。コイルスプリングをダンパー本体にはめ込み、スプリングをショックアブソーバーシュラウドに入れます。

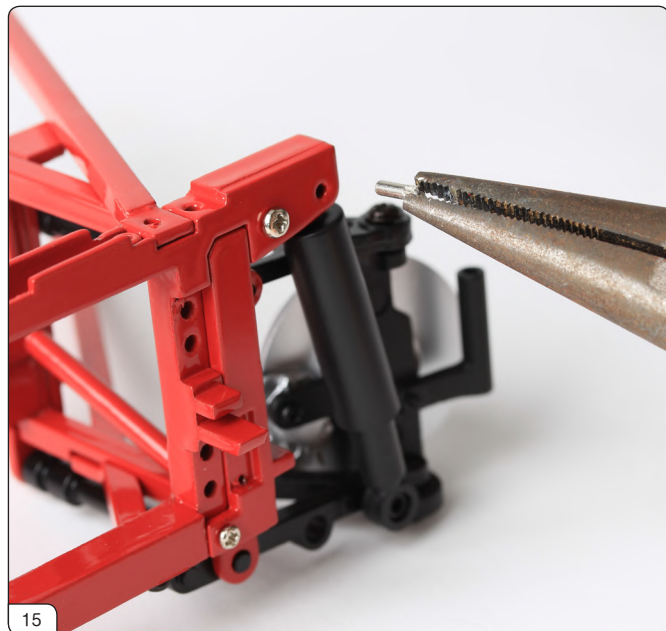
ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション



ショックアブソーバーシュラウド、コイルスプリング、ダンパー本体が組み上がった状態です。



組み立てたショックアブソーバーのショックアブソーバーシュラウド側をサブフレームに、ダンパー本体側をロアウィッシュボーンに取り付けます。



写真のようにプライヤーを使って、ピボットピンをサブフレームの穴に入れます。ピボットピンの向きに注意してください。

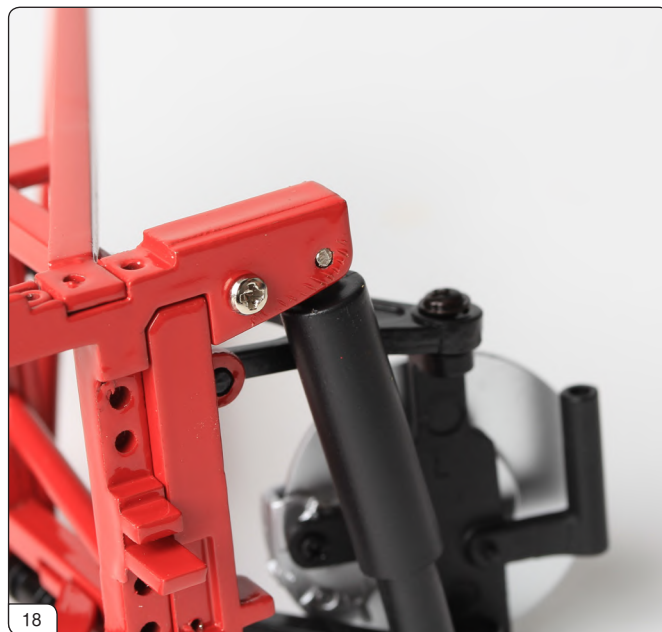


ピボットピンをしっかりと押し込んで、ショックアブソーバーを固定します。

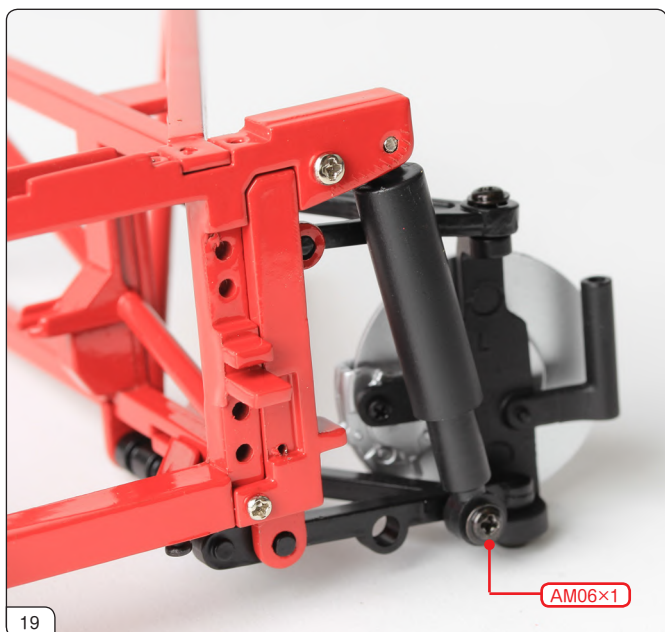
ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション



写真のようにプライヤーでピボットピンを完全に押し込んでください。



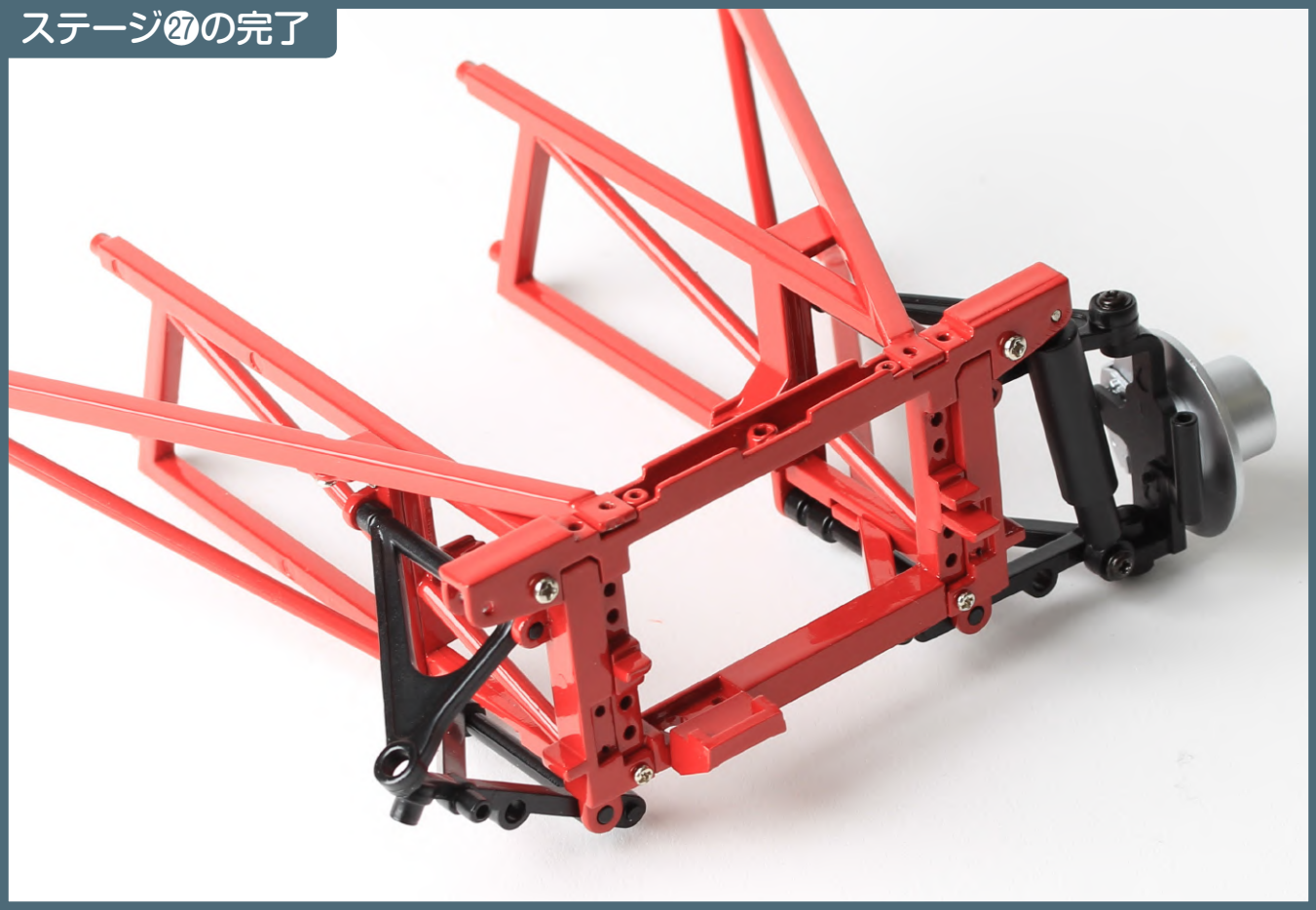
ショックアブソーバーが固定された状態です。



ロアウィッシュボーンにはめ込んだダンパー本体の穴をAM06のネジで固定します。

ステージ②⑦左フロントブレーキ・左フロントサスペンション

ステージ②⑦の完了



ステージ②⑧右フロントブレーキ・右フロントサスペンション

ステージ②⑦の手順を繰り返して、右フロントブレーキ、右フロントサスペンションを組み立てます。



ステージ②⑧パーツリスト

名称
右サスペンションアップライト
ブレーキディスク
ショックアブソーバーシュラウド
ダンパー本体
コイルスプリング
サスペンションブッシュ
ピボットピン
キャリパー
ネジAM05×3
ネジAG04×2
ネジAM06×2



右サスペンションアップライト



ブレーキディスク



ショックアブソーバーシュラウド



ダンパー本体



コイルスプリング



サスペンションブッシュ



ピボットピン



キャリパー



ネジAM05×3



ネジAM04×2



ネジAM06×2

ステージ②⑧右フロントブレーキ・右フロントサスペンション

STEP 1



右フロントブレーキ ディスクの組み立て

写真のように、ブレーキディスクとキャリパーの位置を合わせます。



ブレーキディスクを右サスペンションアップライトの中央部にはめ込みます。右サスペンションアップライトの突起に注目してください(赤矢印)。



キャリパー裏の穴に、右サスペンションアップライトの突起がはめ込まれ、ブレーキディスクと右サスペンションアップライトが正しく取り付けられた状態です。



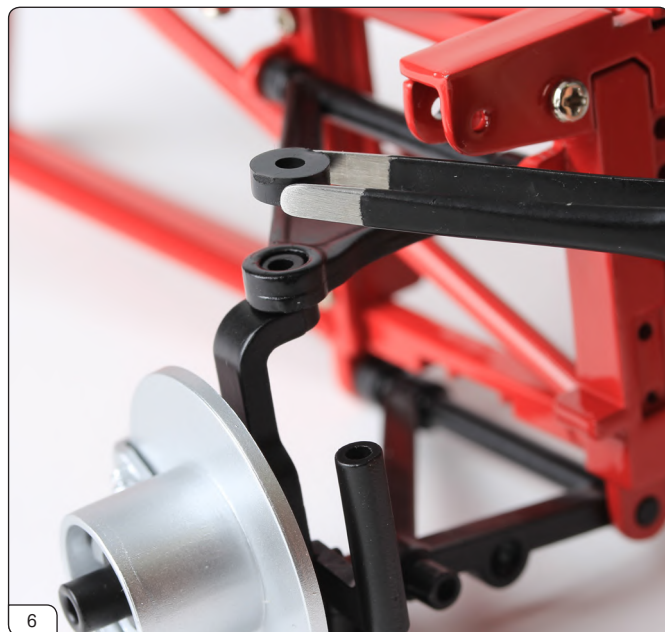
AG04のネジでキャリパーを右サスペンションアップライトに固定します。

ステージ②⑧ 右フロントブレーキ・右フロントサスペンション



サスペンションにブレーキパーツを取り付ける

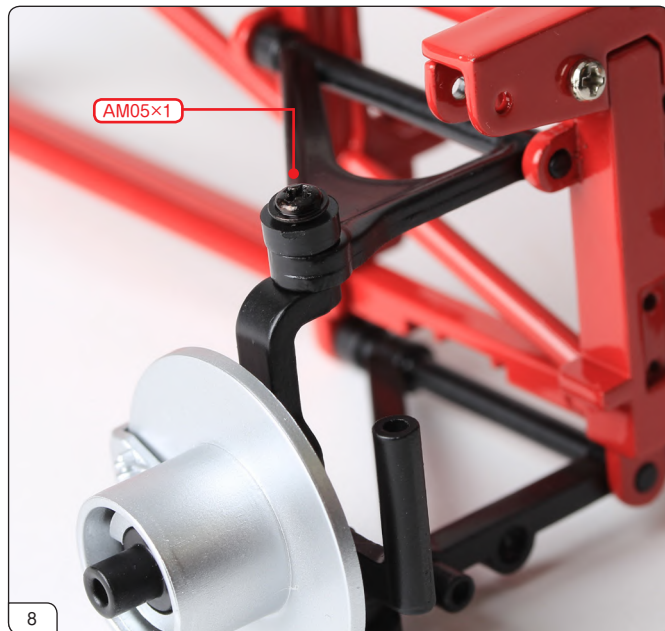
ステージ②⑥で左ロアブレースを組み付けたサブフレームを取り出します。写真のようにアッパーウィッシュボーンとロウウィッシュボーンにブレーキパーツを合わせます。



ブレーキパーツの右サスペンションアップライトをアッパーウィッシュボーンの穴に入れ、サスペンションブッシュをはめ込みます。



3つのパーツが組まれた状態です。

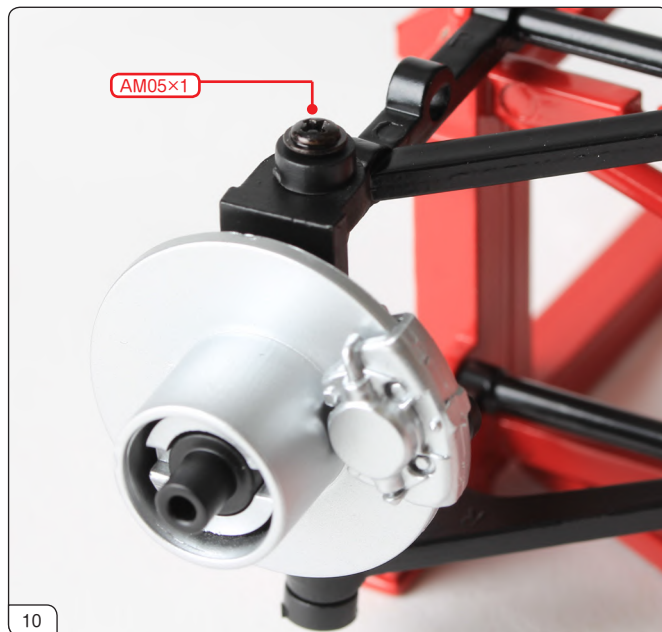


サスペンションブッシュとアッパーウィッシュボーンを通して、右サスペンションアップライトをAM05のネジで固定します。右サスペンションアップライトの動きを妨げないように、ネジは締めすぎないでください。

ステージ②⑧右フロントブレーキ・右フロントサスペンション



サブフレームを裏側にして、ロアウィッシュボーンの穴にもう1つのサスペンションブッシュをはめ込みます。



サスペンションブッシュとロアウィッシュボーンを通して、右サスペンションアップライトをAM05のネジで固定します。右サスペンションアップライトの動きを妨げないように、ネジは締めすぎないでください。



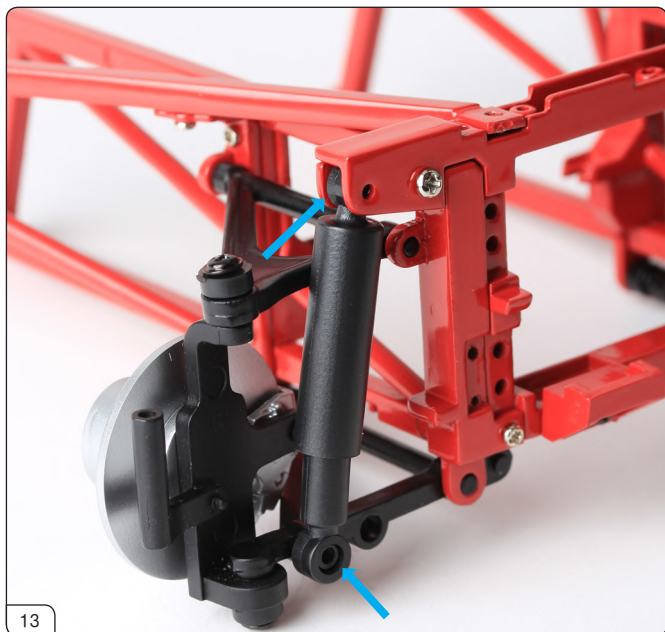
ショックアブソーバーの組み立て

ショックアブソーバーシュラウド、コイルスプリング、ダンパー本体を写真のように配置します。コイルスプリングをダンパー本体にはめ込み、スプリングをショックアブソーバーシュラウドに入れます。



ショックアブソーバーシュラウド、コイルスプリング、ダンパー本体が組み上がった状態です。

ステージ②⑧右フロントブレーキ・右フロントサスペンション



組み立てたショックアブソーバーのショックアブソーバーシュラウド側をサブフレームに、ダンパー本体側をロアウィッシュボーンに取り付けます。



写真のようにプライヤーを使って、ピボットピンをサブフレームの穴に入れます。ピボットピンの向きに注意してください。



ピボットピンをしっかりと押し込んで、ショックアブソーバーを固定します。



写真のようにプライヤーでピボットピンを完全に押し込んでください。

ステージ②⑧ 右フロントブレーキ・右フロントサスペンション

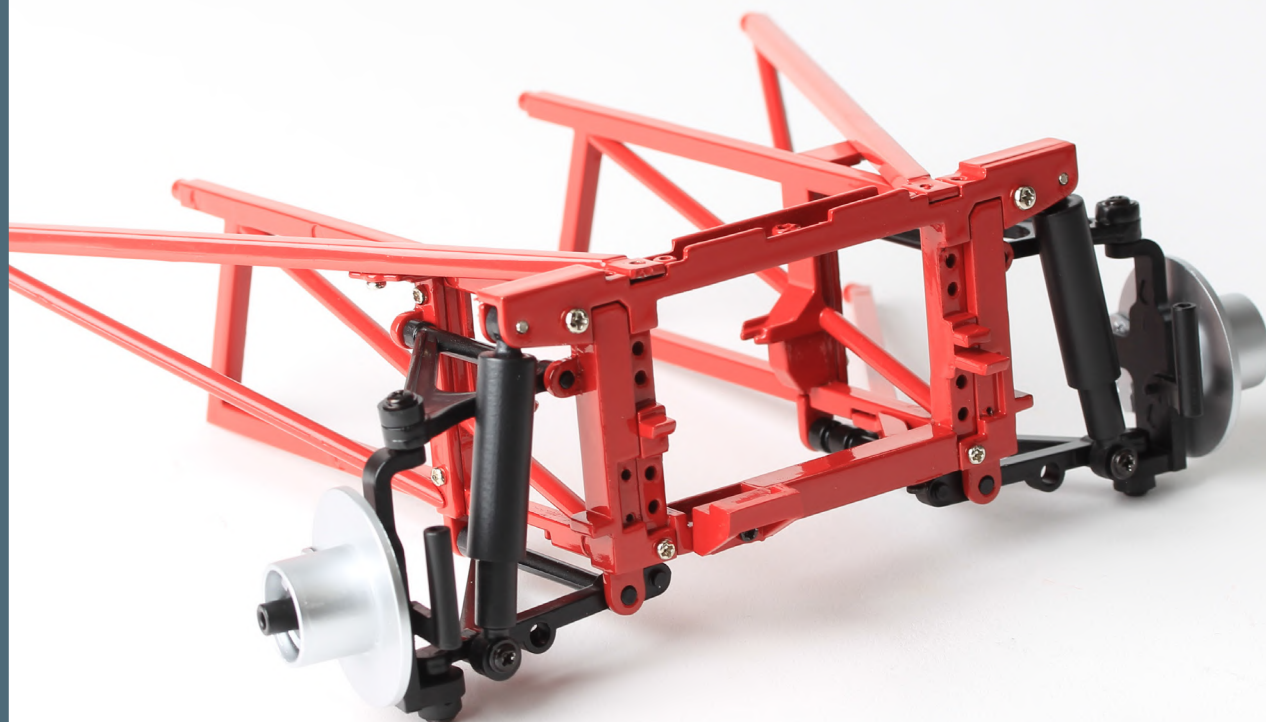


ショックアブソーバーが固定された状態です。



ロアウィッシュブーンにはめ込んだダンパー本体の穴をAM06のネジで固定します。

ステージ②⑧の完了



ステージ②⑨ サンプ・トーションバー

サンプにトーションバーを取り付けます。これはあとの工程でエンジンに組み付けます。



STAGE②⑨ パーツリスト

名称
サンプ
トーションバー

サンプ



トーションバー



ステージ②9 サンプ・トーションバー

STEP1



トーションバーの端にある櫛状のタブを、サンプの端にある溝に合わせます。



2つのパーツをしっかり押し込んで固定します。

ステージ②9の完了



ステージ③⑩エンジン冷却システム

エンジン冷却システムを組み立てます。
パーツは冷却ファン、ラジエーターヘッダー
タンク、ホース、フィルターキャップな
どです。。



STAGE③⑩パーツリスト

名称
ラジエーターヘッダータンク
ヘッダータンク基盤
ファンモーターパーツ
ホース
フィルターキャップ
冷却ファン
スクリュータイプAG06×2
スクリュータイプAG04×3



ラジエーターヘッダータンク



ヘッダータンク基盤



ファンモーターパーツ



ホース



フィルターキャップ



冷却ファン



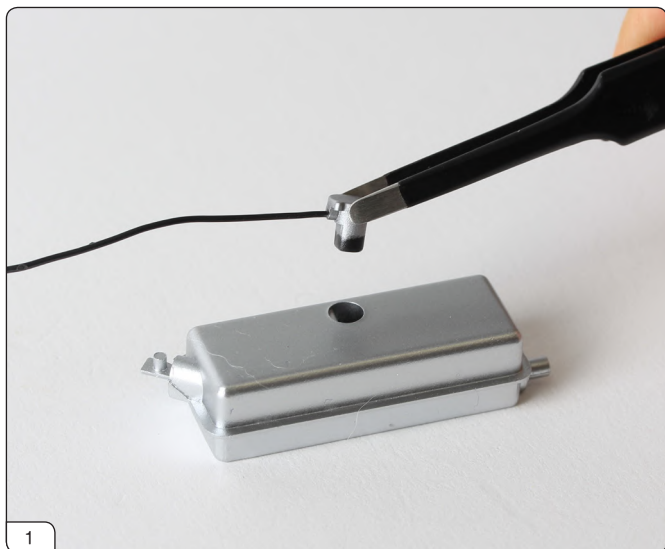
ネジAG04×3



ネジAG06×2

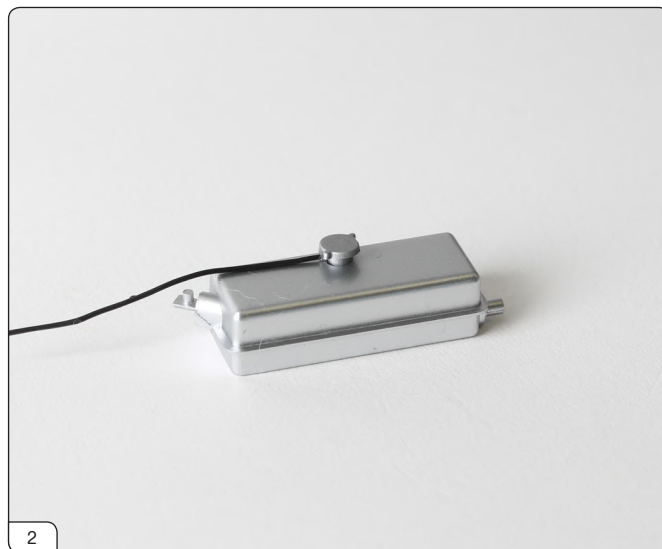
ステージ③⑩エンジン冷却システム

STEP1

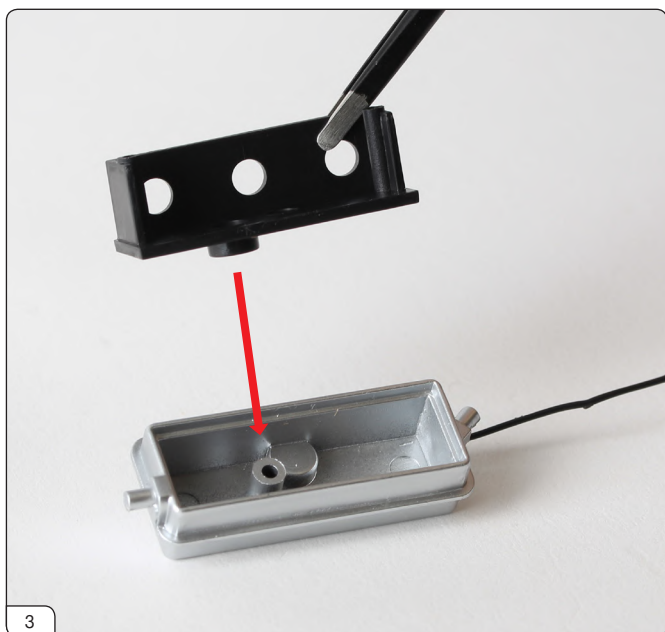


ラジエターヘッダータンクの組み立て

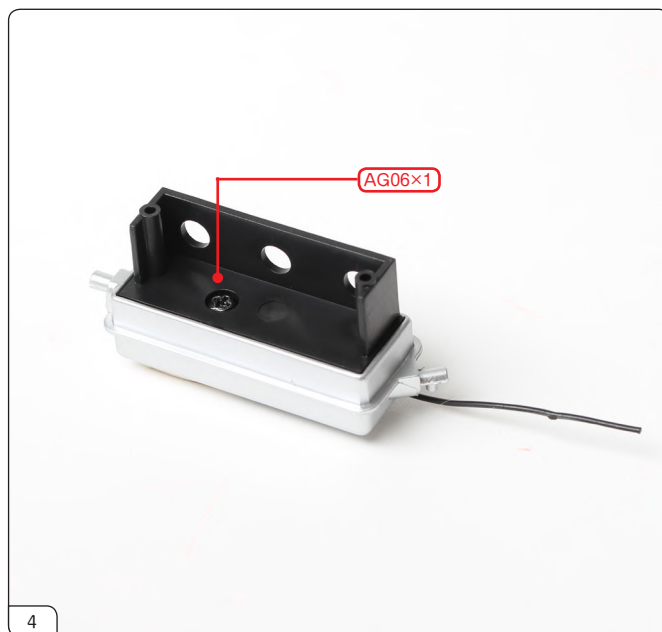
フィラーキャップをラジエターヘッダータンクの穴に合わせます。



フィラーキャップをラジエターヘッダータンクの穴にしっかりと押し込みます。

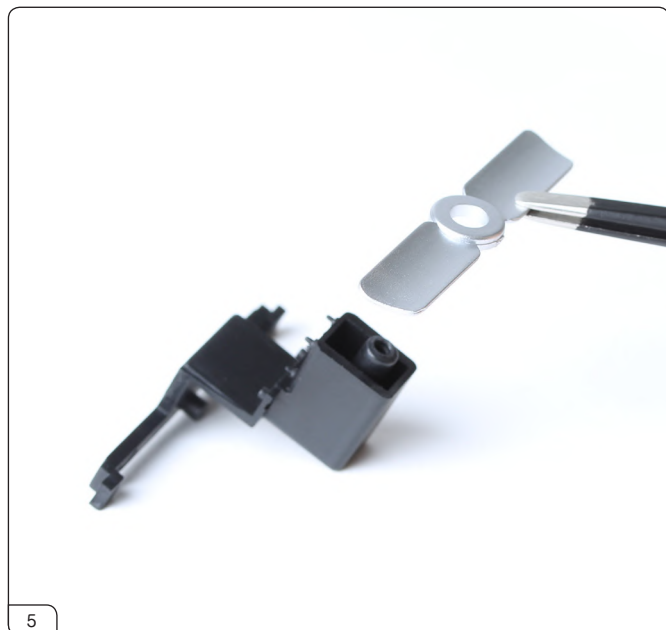


写真のようにヘッダータンク基盤のネジ穴を、ヘッダータンクのネジ穴に合わせます。



AG06のネジで固定します。

ステージ③⑩エンジン冷却システム



ファンモーターパーツの組み立て

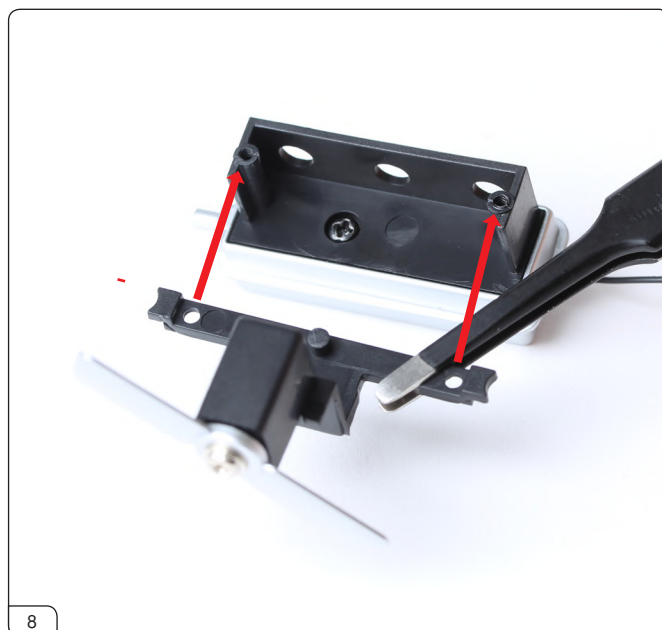
冷却ファンをファンモーターパーツの回転軸に取り付けます。ファンの向きは写真の通りです。



冷却ファンをファンモーターパーツの回転軸に差し込みます。

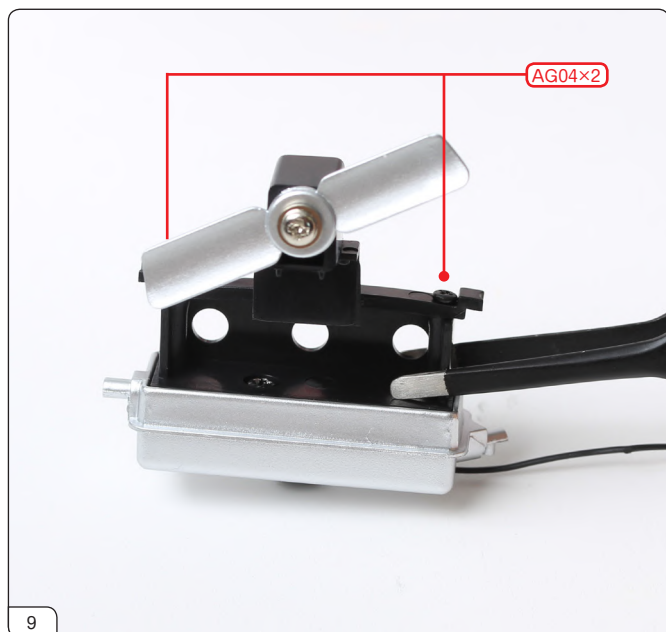


AG07のネジで固定します。



写真のようにファンモーターパーツの穴を、ヘッダータンク基盤の穴に合わせます。

ステージ③⑩エンジン冷却システム



AG04のネジ2本で固定します。



エンジン冷却システムが組み上がった状態です。

ステージ③⑩の完了



ステージ③①サブフレームパーツ 9

ステージ②⑥に続いてサブフレームパーツを組み立てていきます。ステージ③①で組み立てたエンジン冷却システムも取り付けます。



STAGE③①パーツリスト

名称

フロントサブフレームベース

右フロントサブフレームステー

左フロントサブフレームステー

ネジAM15×5

ネジAM03×7



フロントサブフレームベース



右フロントサブフレームステー



左フロントサブフレームステー



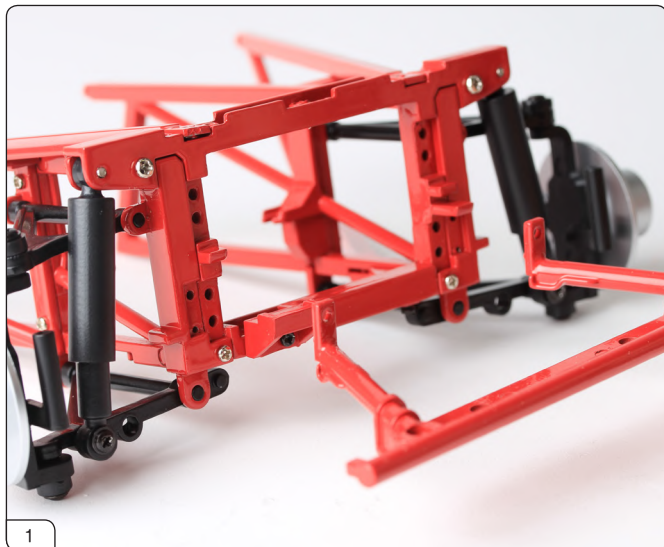
ネジAM15×5



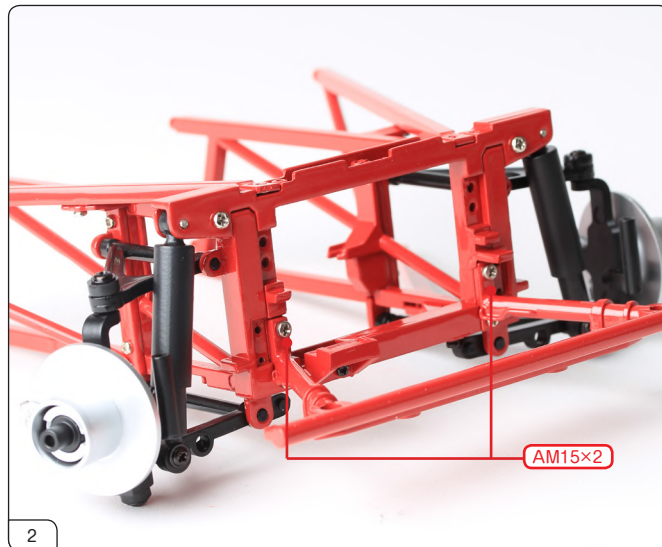
ネジAM03×7

ステージ③1サブフレームパーツ 9

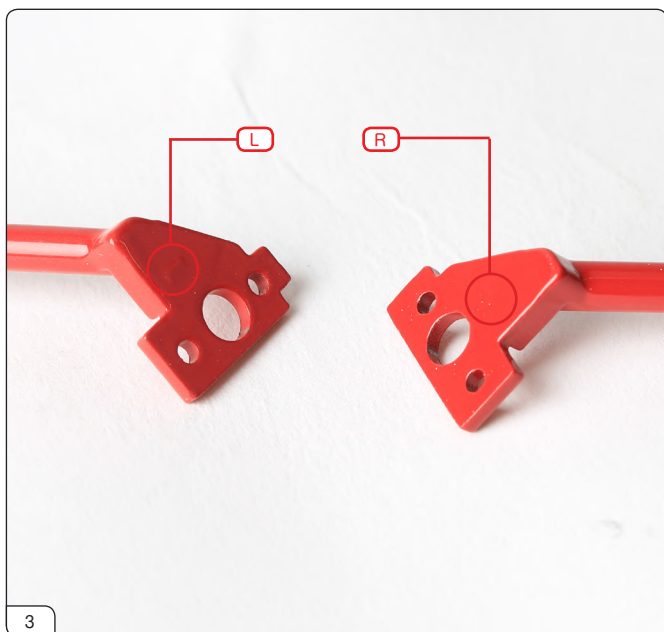
STEP 1



ステージ②でサスペンションを組み込んだサブフレームに、フロントサブフレームベースのネジマウント部を合わせます。



フロントサブフレームベースのネジマウント部をサブフレーム凹部にはめ込んで、AM15のネジ2本で固定します。



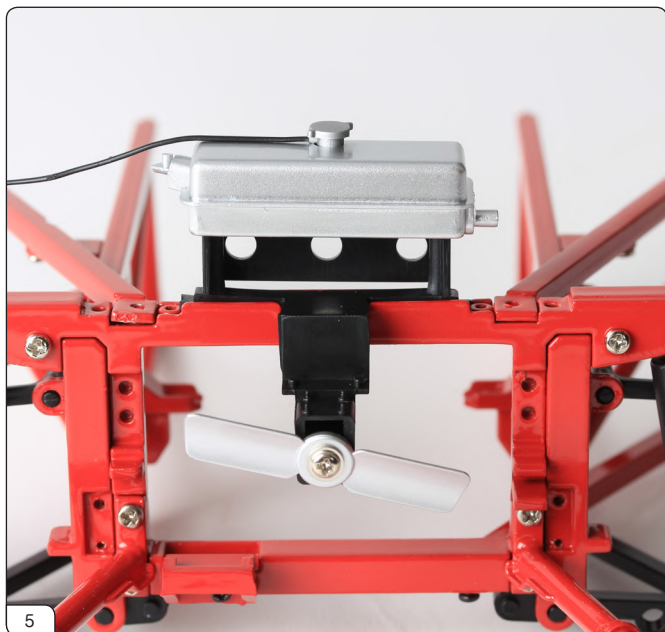
エンジン冷却システムの取り付け

冷却ファンを取り付けます。まず、2つのフロントサブフレームステーに、左 (L) と右 (R) のマークがあることに注意してください。

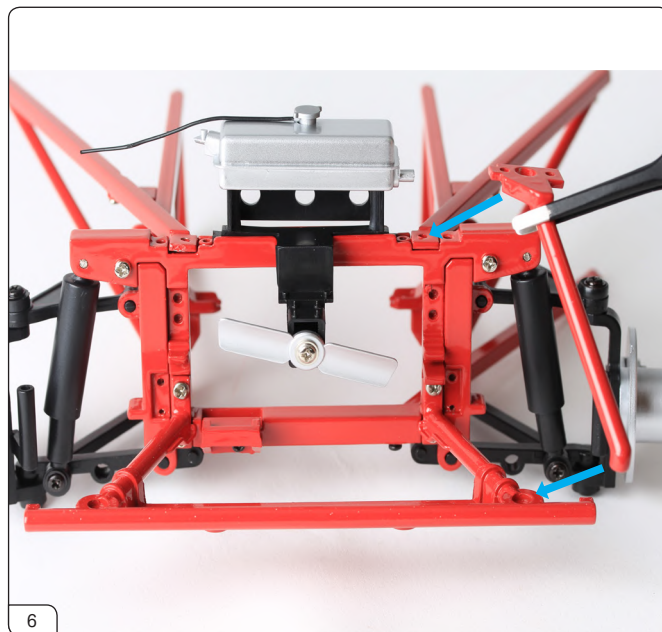


ステージ③で組み立てたエンジン冷却システムは、写真のように取り付けられます。

ステージ③1サブフレームパーツ 9



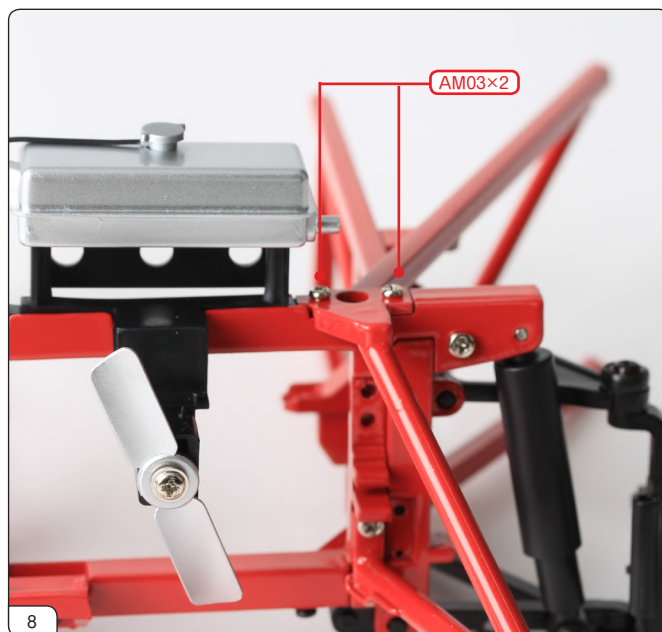
エンジン冷却システムをしっかりと押し込んでください。



左フロントサブフレームステーを写真のように合わせます。ベントした下端は、フロントサブフレームベースの穴にはまります。



ベントした左フロントサブフレームステーを下からAM15のネジで固定します。

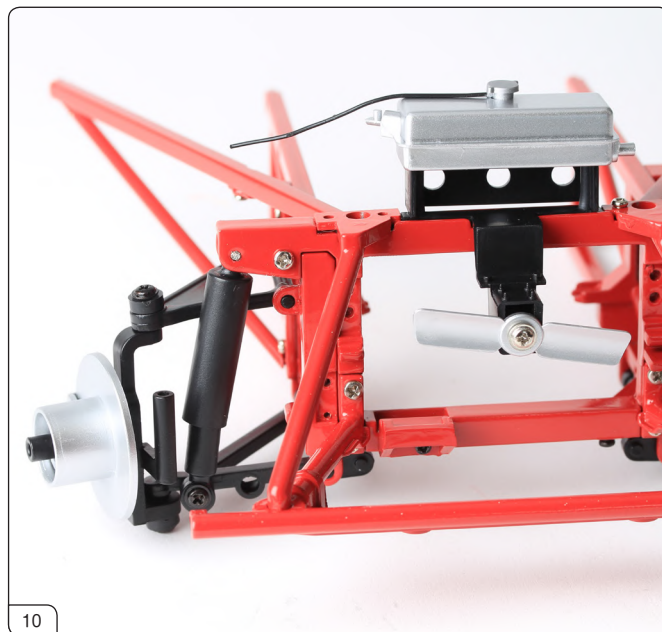


左フロントサブフレームステー上部をAM03のネジ2本で固定します。

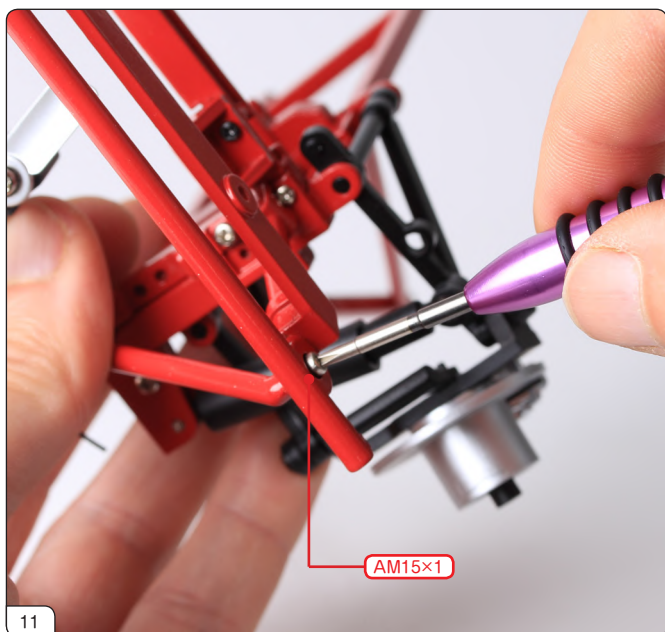
ステージ③1 サブフレームパーツ 9



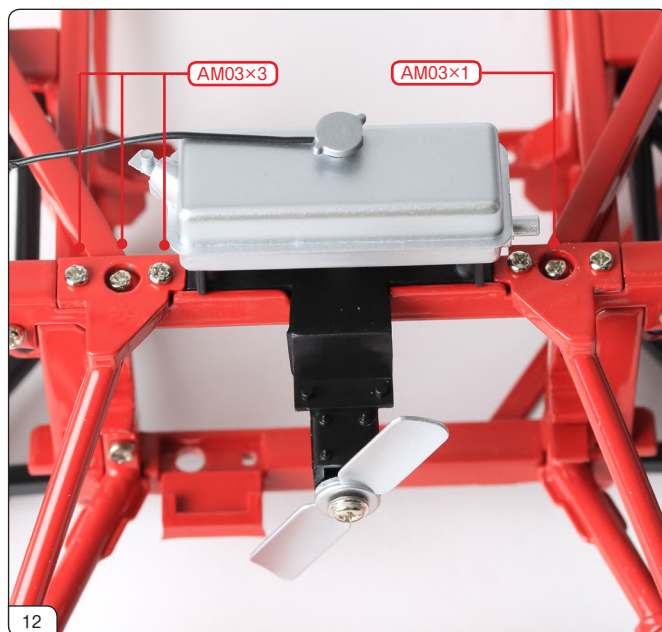
工程6・7・8を繰り返して、右フロントサブフレームステーを取り付けます。



右フロントサブフレームステーを写真のように合わせます。ベントした下端は、フロントサブフレームベースの穴にはまります。



ベントした右フロントサブフレームステーを下からAM15のネジで固定します。



AM03のネジ3本で、右フロントサブフレームステーを固定します。最後にもう1本のAM03ネジを、左フロントサブフレームステーの上部中央の穴に締め込みます。

ステージ③1サブフレームパーツ 9

ステージ③1の完了

